

2020（令和2）年度 あまのくらし部会報告

あまのくらし部会の役割

障害のある人の地域生活を支援するための課題などについて協議します。

あまのくらし部会では、災害時にも生きる地域のネットワークづくり、親の高齢化に伴う障害のある人の自立生活や相談支援体制の整備などについて取り組んでいます。

これまでのあまのくらし部会 ①

あまのくらし部会は、他の部会と比較して当事者団体が多数委員として任命されていることで、当事者だからこそ感じる視点について議論を重ねてきた。

実践している方のお話を聴いたり、実際に取り組まれている現場に足を運ぶことで、「障害者の暮らし」について、当事者であっても障害種別が異なれば、それぞれが異なった生き辛さを感じ、多様な暮らしを送っていることを認識しながら、あまのくらし部会は「障害者の暮らし」がより良いものとなるよう議論や活動を重ねてきた。

これまでのあまのくらし部会 ②

- その中でも、障害者の地域での自立生活の実現のために、地域住民と繋がることを重要であることを目的に、毎年、フォーラムの開催を継続して行ってきた。



- 障害の有無を問わず多様な生活が存在することの理解を当事者だけでなく、民生児童委員をはじめとした地域住民に対して、人と人との繋がりを深めていくキッカケ作りとなった。

2020(R2)年度の取り組みについて

くらし部会では、これまで当事者と支援者・地域との顔の見える関係づくりを大きな目標にかかげて活動をしてきたが、2020年度は新型コロナの影響で、たくさんの制限があった。

部会はweb会議で行われ、くらし部会の活動のメインのひとつであるくらし部会フォーラムも開催できなかった。

当事者・支援者・地域の人々とかかわる機会が激減し、対面での会議も開催できず、コロナ禍での孤立が心配される中、工夫できたこと、よかったことなど、気づきもあった。

状況に合わせて対応や工夫しながら行った活動、ZoomやSNSでのつながり、そして広がり。

コロナ禍での障害者の暮らしに関する困りごとを収集する中で、障害それぞれの違いや気づきにつながった。具体的な事例を通して、課題も見えてきた。十分ではないが、尼崎市のコロナ対策への当事者からの情報提供として活かされることを期待したい。

部会の開催と協議内容

第1回	第2回	第3回	第4回
2020(R2)年9月29日	2020(R2)年10月27日	2020(R2)年11月24日	2020(R2)年12月22日
<ul style="list-style-type: none">・昨年度取り組み報告・今年度取り組みについて・コロナ禍で中止が続いたがやっと部会が開催できた。	<ul style="list-style-type: none">Zoomを学ぼう！・パソコンやスマホでZoomの使い方	<ul style="list-style-type: none">・今年度の取り組みについて・コロナ禍でのネットワーク→必要な情報の収集、共有、工夫	<ul style="list-style-type: none">コロナ禍での暮らしの現状をヒアリング調査（部会委員が所属する団体にアンケートを実施）・困りごと、知りたい事・工夫できたこと・課題・質問、要望
		委員へ今年度の部会の活動アンケート	各委員が当事者・事業所などにヒアリング
尼崎市教育・障害福祉センター4階視聴覚室	武庫西生涯学習プラザ 講師：多田真尊さん	Zoom会議	Zoom会議

部会の開催と協議内容

第5回	第6回	第7回	第8回
2021(R3)年1月26日	2021(R3)年2月	2021(R3)年3月23日	2021(R3)年4月27日
<p>ヒアリング内容を共有、グループに分かれ整理することになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者の現状(困りごとや工夫、課題) ・行政からの情報 ・事業所の体験に学ぶ ・地域活動の現状、課題など 	<p>それぞれグループで話し合い、まとめの作業</p> <p>2/12(火)事業所グループ 身障センターにて</p> <p>3/2(火)当事者グループ 身障福祉会館にて</p> <p>3/5(金)地域グループ あまなクリニックにて</p>	<p>各グループから発表</p> <p>次ページから各グループのまとめ</p>	<p>まとめ</p> <p>各グループのまとめをさらに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政への質問 ・好事例の意見 ・対応や配慮について <p>にまとめた。</p> <p>今後の活動につなげていこう。</p>
Zoom会議	グループ別会議	Zoom会議	Zoom会議

ヒアリングのまとめ 行政グループ

- ・市の取り組みや情報発信がたくさんあることがわかった。
- ・コロナ禍で混乱状況での対策や情報提供は困難が多い。
国、県の対策に影響され、状況に追いつけないことも多い。
- ・受け手側は情報量が多く、必要な情報が得られる場所がわからない、必要な情報を得る方法や手段がわからないなどの意見があった。
- ・市の取り組みや情報はあるのに、必要な人に十分に伝わっていないことも多いことが課題。

ヒアリングのまとめ 当事者グループ

1. マスク着用困難など障害への理解や合理的配慮に課題がある
 - ・ コロナの感染対策
2. コロナの正しい理解、感染者が出たときの対応
3. 自宅での過ごし方の工夫
4. わかりやすい情報発信に向けての課題
 - ・ 発熱時移動手段・ コロナ受け入れ病院とベッド数
 - ・ 正しい感染対策など情報発信(出前講座等)
 - ・ 孤立しないための対策

ヒアリングのまとめ 地域グループ

1. 困ったこと
 - ・ 医療機関でのクラスター発生による治療の遅れや風評被害
 - ・ 支援者の感染リスク
 - ・ 外出激減、地域の居場所がなくなり体力・ADL低下や認知症の進行、引きこもり、飲酒量増、家族間トラブル など
2. 工夫やよかったこと
 - ・ 手作りマスクや次亜塩素酸水など普段関わりがなかった人や会社等からの支援
 - ・ 子ども食堂などの活動は形態を変えて実施
 - ・ Zoomを使ったデイケアプログラムでかかわる人の広がり
3. 課題
 - ・ 支援者ワクチンの優先接種
 - ・ 情報の集約と整理、わかりやすい発信
 - ・ 外出自粛や制限下で安心して過ごせる環境の充実

ヒアリングのまとめ 事業所グループ

現状を把握する中で、行政への質問など整理した。

- 障害者の親（主たる介護者）がコロナ感染した場合の処遇
- コロナ感染があった事業所の対応
- 保健所との連携方法
- 感染疑いのある方の通院方法
- 検査キットの活用
- ゾーニングの方法
- 感染対策マニュアルや感染の体験・事例（工夫の仕方など）
- 「困りごと情報シート」の活用方法

まとめ

- コロナ禍にあり、対面での会議ができず、何よりくらし部会定例のフォーラムができなかった。人とつながれず、孤立が心配される中、だからこそ新たな取り組みとしてZoom会議が実施できた。
反面、これまでつながれなかった人たちとの新たな出会いもあった。
- ヒアリングした現状や課題は以下のように整理して行政にも伝えた。
 - * 行政への質問
 - * 工夫したことや好事例
 - * 対応や配慮について課題解決のヒントに生かしていきたい。
- コロナ禍での孤立化、しんどさに寄り添うこと、情報をわかりやすく伝える配慮などたくさんの課題があった。
- 一方で、工夫をしていく、新たなつながりをつくる人の強さもあった。
- これからのくらし部会の活動につなげていきたい。